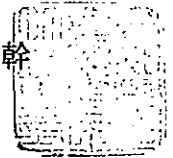


20安経第982号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

高知県安田町長 有岡 正幹



今後の道路行政についての意見・提案について

標記について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

高知県安田町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

- ・ 昨年度より道路中期計画の策定に向けて、国会議員をはじめ国の機関や知事に対し幾度となく要望行動を行ってきた。道路行政を取り巻く環境は道路特定財源制度の見直し等大きな変遷期を迎えているが、何度意見を求められても我々の訴えていくべき内容は変わらない。
- ・ 国の道路施策の進め方として「選択と集中による効果的な事業の実施」を掲げているが、全国ほとんどの地方自治体において、真に必要な道路整備を引き続き実施すべきであると訴えている現状において何を基準に選択をするのか？選択をされれば集中的に投資し、早期完成により効率よく効果を発揮することとなる。結局選択から漏れた道路はいつまでたっても整備がされないということになりかねない。
- ・ 人口が多く通行量の多い都市部における道路整備と、過疎化が進み通行量が少ない地方の道路整備が同様の事業評価をされることに問題がある。地域の実情に応じた地域の生活に密着した主要生活道、脆弱な道路に代わる命の道などの多様な評価手段を取り入れるべきである。

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状

- ・ 海岸浸食が深刻化する中で、台風常襲地帯という厳しい自然条件にあり、度重なる台風により太平洋沿岸を走る一般国道55号は、地域の至る所で越波や豪雨による通行止めや通行規制が慢性化し、住民生活に多大な影響を及ぼす事態が発生している。
- ・ 馬路村から安田町を縦貫し一般国道55号に至る、主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線は、落石事故が多発する自然災害の多い脆弱な道路であり、視距が悪く道路改良の遅れた道路である。ひとたび大きな工事が始まれば、迂回路がないために住民が1時間程度も足止めを強いられることもしばしばである。

○課題

- ・ 道路整備が遅延している当地域にとって、中期計画に盛り込まれている、真に必要な道路整備とは最低限、絶対に必要な道路整備のことであり、地域間格差の是正や安全・安心の確保など、住民が信頼できる道路整備推進に対し、地方の切実な思いをかなえるためにも、必要な財源確保が求められている。

②ー2 地域の目指すべき将来像

- ・ 第二次市町村合併を推進するうえにおいても、道路整備による地域間の時間距離の短縮により圏域内の連帯意識の醸成を図るとともに、住民サービスに格差が生じないように努める必要がある。
- ・ 近い将来発生が予想されている南海大地震により、津波や道路崩壊で海岸線を走る国道は寸断され、本町は陸の孤島となってしまう。これを補完するため災害に強い道路整備により救急搬送、緊急物資の輸送が可能な基盤整備を行う必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

高知県安田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 四国8の字ネットワークの整備 ・ 地方道路の1.5車線の道路整備	・ 四国8の字ネットワークの整備が進められる中で、四国の中でも高知県、とりわけ東部地域の形成率が極めて低く、都市と地方のみならず、高知県内でも地域間格差が生じている現状にある。本町においては、インターチェンジを含めた市町村道とのネットワーク整備により地域の活性化への効果が期待できるとともに、前述した災害時における「命の道」として重要なインフラ整備となる。	